

＜環境＞

- 温室効果ガス(GHG)排出量の削減
- 水の保全
- 廃棄物の削減と再資源化
- 主な環境負荷の推移

＜社会＞

- 雇用状況
- 労働状況
- 健康管理に関する状況

＜ガバナンス＞

- 取締役会
- カゴメコンプライアンスホットライン相談・通報受付件数

＜対象期間＞

2023～2024年度の活動を中心に、それ以前の取り組みや、直近の活動報告も含んでいます。注記がない限り、各年度のデータは1月1日～12月31日の期間での集計を基本としています。

＜報告対象範囲＞

カゴメグループの活動報告を中心に、一部項目では個別のグループ会社の活動についても取り上げて報告しています。

※サステナビリティサイトの開示方針に基づき、海外グループ会社を含む国内外全体に関する報告は「カゴメグループ」、カゴメ株式会社単体に関する報告は「カゴメ」、国内グループ会社全体に関する報告は「国内カゴメグループ」と表記しています。

<環境>

■ 温室効果ガス(GHG)排出量の削減(カゴメグループ)

・Scope 1、2 のGHG排出量

単位：t-CO₂e

※拠点の所在国・地域		2020年	2021年	2022年	2023年
日本	Scope1	45,295	43,773	41,419	41,739
	Scope2	25,234	22,713	18,810	16,087
	Scope1+2	70,529	66,486	60,229	57,826
ポルトガル	Scope1	24,647	27,080	25,639	27,563
	Scope2	4,505	540	0	0
	Scope1+2	29,152	27,620	25,639	27,563
オーストラリア	Scope1	18,923	19,046	18,551	14,045
	Scope2	11,167	9,491	10,262	7,844
	Scope1+2	30,090	28,537	28,813	21,889
米国	Scope1	4,701	5,390	4,925	4,875
	Scope2	4,927	5,518	5,600	5,456
	Scope1+2	9,627	10,908	10,525	10,331
イタリア	Scope1	607	794	952	1,164
	Scope2	1,069	1,187	1,140	1,551
	Scope1+2	1,676	1,981	2,092	2,715
台湾	Scope1	777	969	1,010	1,256
	Scope2	1,672	1,845	1,901	1,963
	Scope1+2	2,450	2,815	2,911	3,219
合計	Scope1	94,949	97,052	92,496	90,642
	Scope2	48,574	41,294	37,713	32,901
	Scope1+2	143,524	138,346	130,208	123,543

・使用エネルギー構成比

2023年は、38,455MWhの再生可能エネルギー電力の利用によるGHG排出の削減量は10,229t-CO₂eでした。2023年の全使用電力に占める再生可能エネルギー比率は36.9%でした。

	2020年	2021年	2022年	2023年
ガス類	80.7%	80.7%	80.7%	80.6%
石油類	1.1%	1.0%	1.0%	1.0%
電力	18.3%	18.3%	18.3%	18.4%

<環境>

・Scope3のGHG排出量

	2020年	2021年	2022年	2023年	
	排出量 (t-CO ₂ e)	排出量 (t-CO ₂ e)	排出量 (t-CO ₂ e)	排出量 (t-CO ₂ e)	比率 (%)
①購入した製品サービス	1,078,720	1,141,154	1,101,317	854,064	78.0
②資本財	27,333	43,735	25,177	23,551	2.2
③Scope1,2に含まれない 燃料及びエネルギー関連活動	27,904	26,151	26,302	29,837	2.7
④輸送、配送（上流）	52,974	51,038	50,293	46,646	4.3
⑤事業から出る廃棄物	5,031	12,848	11,328	13,495	1.2
⑥出張	349	367	367	383	0.0
⑦雇用者の通勤	1,196	1,257	1,253	1,307	0.1
⑧リース資産（上流）	606	563	533	449	0.0
⑨輸送、配送（下流）	65,706	74,946	72,521	69,477	6.3
⑩販売した製品の加工	37,002	42,670	41,827	40,203	3.7
⑪販売した製品の使用	-	-	-	-	-
⑫販売した製品の廃棄	16,381	17,640	16,109	15,782	1.4
⑬リース資産（下流）	2,038	262	119	54	0.0
⑭フランチャイズ	-	-	-	-	-
⑮投資	-	-	-	-	-
合計	1,315,239	1,412,630	1,347,148	1,095,248	100

※減少の主な要因はカテゴリー1の原単位を一部変更したことであり、基準年である2020年のGHG排出量は今後再計算を行う予定。

※カテゴリー11は算定対象外、カテゴリー14・15はフランチャイズ事業・投資事業を行っていないため該当なし。

■ GHG排出量の第三者検証

2023年（1月1日～12月31日）の温室効果ガス排出量について、国内外のカゴメグループ工場（スコープ1、2）及び国内のカゴメグループ（スコープ3）から排出された温室効果ガスの算定方法の妥当性及びデータの検証がISO14064-3:2019に準拠して行われ、検証機関である一般社団法人日本能率協会による検証報告書を取得しました。なお、検証を受けたスコープ1、2のGHG排出量は、前記の表にて記載の100%をカバーしています。

<環境>

■ GHG排出量の削減(カゴメ)

<国内工場>

・エネルギー使用量の推移

	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
使用量	千GJ	859	832	831	830	782
生産量あたり使用量	GJ/t	2.19	2.10	2.08	1.97	1.93

・GHG排出量の推移

	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
排出量	t-CO ₂ e	41,806	39,899	37,548	34,675	29,325

<営業・管理部門>

・オフィスでの電力使用量の推移(床面積あたり)

	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
電力使用量	kWh/m ²	153	137	132	136	139

<物流>

・CO₂排出量の推移 ^{*E1}

	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
排出量	t-CO ₂	27,500	28,500	27,600	25,700	22,500
販売重量あたりの排出量	kg-CO ₂ /t	41.5	41.5	38.7	37.1	33.6

E1 行政報告の4月1日～3月31日の期間で計算。

<環境>

■水の保全

・取水量と排水量の推移（カゴメグループ）

単位：千t

※拠点の所在国・地域	2020年		2021年		2022年		2023年	
	取水量	排水量	取水量	排水量	取水量	排水量	取水量	排水量
日本	3,111	2,654	3,067	2,719	3,101	2,698	2,952	2,432
米国	212	127	268	183	239	94	209	137
ポルトガル	3,673	2,889	4,002	2,948	3,774	3,086	4,015	3,063
オーストラリア	358	358	330	330	325	325	330	330
イタリア	61	51	91	74	116	109	118	92
台湾	103	61	110	68	130	68	134	78
合計	7,517	6,140	7,868	6,323	7,685	6,380	7,758	6,131

・水源別取水量（カゴメグループ）

単位：千t

	2020年	2021年	2022年	2023年
総取水量	7,517	7,868	7,685	7,758
地下水	6,529	6,860	6,683	6,800
河川・雨水	165	156	131	139
海水	0	0	0	0
水道水	823	852	871	819

・排出先別 排水量（カゴメグループ）

単位：千t

	2020年	2021年	2022年	2023年
総排水量	6,140	6,323	6,380	6,131
河川・湖沼	5,391	5,602	5,651	5,431
海	0	0	0	0
下水道	391	391	404	371
その他(畑の灌漑)	358	330	325	330

<環境>

・水リスクの高い地域の水使用状況（カゴメグループ）

単位：千t

	ポルトガル				オーストラリア			
	2020年	2021年	2022年	2023年	2020年	2021年	2022年	2023年
総取水量	3,673	4,001	3,774	4,015	358	330	325	330
地下水	3,669	3,998	3,771	4,011	0	0	0	0
河川・雨水	0	0	0	0	0	0	0	0
海水	0	0	0	0	0	0	0	0
水道水	4	3	3	4	358	330	325	330
総排水量	2,889	2,949	3,086	3,063	358	330	325	330
河川・湖沼	2,889	2,949	3,086	3,063	0	0	0	0
海	0	0	0	0	0	0	0	0
下水道	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(畑の灌漑)	0	0	0	0	358	330	325	330

・日本国内工場の水使用量と原単位の推移（カゴメ）

	飲料関連工場		食品関連工場		合計	
	使用量 (千t)	原単位	使用量 (千t)	原単位	合計 (千t)	原単位
2020年	2,353	7.4	424	5.5	2,777	7.0
2021年	2,324	7.1	419	5.6	2,742	6.9
2022年	2,348	6.8	386	5.0	2,734	6.5
2023年	2,245	6.7	369	5.1	2,614	6.4

※原単位は生産量あたりの水の使用量を示す(t/kl)

飲料関連工場：那須工場、富士見工場、茨城工場、小牧工場

食品関連工場：小坂井工場、上野工場

<環境>

■ 廃棄物の削減と再資源化

・食品循環資源の再生利用等の実施率の推移（カゴメ）

	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
食品循環資源の 再利用等の実施率	%	98.2	97.7	97.4	97.8	98.2
目標 ^{*E2}	%	95	95	95	95	95

・産業廃棄物量と化学物質の大気排出量の推移（カゴメ）

廃棄や大気排出にあたっては、周辺環境の汚染や人への健康危害の原因にならないよう、法令を順守し適切に管理を行っています。

2020～2023年において、化学物質の漏洩や基準超過等、環境に影響する重大な事故および違反は発生しておりません。また将来発生しうるコスト（シャドウコスト）はありません。

		単位	2020年	2021年	2022年	2023年
産業廃棄物	排水汚泥 ^{*E3}	t	2,223	2,604	2,453	1,599
	有害 廃棄物	廃油	t	4	38	49
		廃酸	t	3.1	3.1	3.0
		廃アルカリ	t	1.9	0.4	0.4
大気排出	NOx	t	10.0	10.1	10.2	9.6
	SOx	t	0.1	0.1	0.1	0.1
	化学物質 ^{*E4}	kg	1.3	1.5	1.1	0.9

※データの対象： 産業廃棄物：国内6工場および総合研究所

NOxおよびSOx：国内6工場

化学物質：PRTR法に基づき報告義務のある国内1工場

E2 食品リサイクル法では、食品製造業における再生利用等実施率95%を達成するよう目標が設定されています。

E3 排水汚泥は、全量肥料化による再生利用実施。

E4 PRTR法に基づく第1種化学物質の届出量。フォークリフト用ガソリンの使用に伴う、ヘキサン、トルエン、ベンゼンの排出。

<環境>

■日本国内工場の環境負荷の推移(カゴメ)

Input

区分		単位	2020年	2021年	2022年	2023年
原材料の使用量	生野菜(加工用)	千t	27	21	31	29
	農産加工品(果汁・ペースト等)	千t	111	120	119	110
	その他調味料等	千t	34	33	35	33
エネルギー(電力・重油・都市ガスなど)		GJ	832,120	831,260	830,210	790,540
水(用水)		千t	2,780	2,740	2,730	2,620

Output

区分		単位	2020年	2021年	2022年	2023年
製品		t	396,700	399,950	421,100	405,330
GHG排出量		t-CO ₂ e	39,899	37,548	34,675	29,325
生産余剰物量		t	10,970	10,890	10,570	8,970
再資源化量		t	10,960	10,870	10,550	8,960

※その他、2023年度の返品等に伴う廃棄物は 421 t、オフィスにおける大気排出は 1,854 t-CO₂eでした。

環境会計^{*E5}(2023年度)

2023年度は、投資、費用合わせて1,117百万円を投入

(単位：百万円)

項目・内容			投資額	費用額
事業エリア内 コスト	①公害防止コスト	大気汚染防止、水質汚濁防止、大気・水質の分析・測定など	44	311
	②地球環境保全コスト	CO2削減、省エネルギー、フロン対応など	60	218
	③資源循環コスト	資源の効率的利用、廃棄物再資源化など	10	135
	①②③の合計		114	664
上・下流コスト	容器包装の再資源化委託料など		0	236
管理活動コスト	環境マネジメントシステム運用、環境教育など		0	80
研究開発コスト	環境負荷低減のための研究開発活動		0	16
社会活動コスト	環境美化、公害対策賦課金、関連団体活動費など		0	8
環境損傷対応コスト			0	0
合計			114	1,003

E5 環境省「環境会計ガイドライン(2005年版)」を参考に、適切な取り組みを進められるよう、適宜項目を見直しています。

<社会>

■雇用状況（カゴメグループ）

・従業員数

		単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
全体	男性	人	1,901	1,956	1,947	2,024	2,205
	女性	人	783	866	871	897	979
	合計	人	2,684	2,822	2,818	2,921	3,184

■雇用状況（カゴメ）

・役員数 ^{*S1}

	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
男性	人	22	27	25	25	25	20
女性	人	4	4	4	4	4	3
合計	人	26	31	29	29	29	23

・管理職数 ^{*S1}

	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
男性	人	326	327	317	311	305	297
女性	人	23	26	29	33	38	41
合計	人	349	353	346	344	343	338

・従業員数

		単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
正社員	男性	人	1,185	1,154	1,142	1,140	1115
	女性	人	456	474	505	514	520
	合計	人	1,641	1,628	1,647	1,654	1635
平均年齢		歳	41.2	41.2	40.4	41.8	42.1
離職率 ^{*S2}		%	1.3	1.4	1.3	1.6	2.1

・新卒採用

	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
男性	人	22	20	14	24	20	27
女性	人	33	26	27	26	19	21
合計	人	55	46	41	50	39	48

・キャリア採用

	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
男性	人	9	10	3	8	13
女性	人	2	6	9	6	5
合計	人	11	16	12	14	18

※2024年のキャリア採用数はカゴメアグリフレッシュの採用者（男性1名）を含む

S1 各年度4月1日時点の集計値。

S2 自己都合退職者の割合。

<社会>

■雇用状況（カゴメ）

・障がい者雇用率 ^{*S3}

	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
雇用率	%	2.79	2.75	2.89	2.84	3.50

・平均勤続年数 ^{*S4}

	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
男性	年	16.7	17.9	18.4	19.0	19.1	18.8
女性	年	11.9	12.2	12.3	12.2	13.1	12.8
合計	年	15.4	16.3	16.6	16.9	17.1	16.8

■労働状況（カゴメ）

・有給休暇取得率 ^{*S5}

	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
付与日数	日	18.4	18.1	18.6	18.6	18.3
取得日数	日	15.2	15.3	16.0	15.5	14.4
取得率	%	82.5	84.7	86.4	83.4	83.0

・育休取得率

	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
男性	%	29.6	62.5	78.0	69.8	91.3
女性	%	100	100	100	100	100

・総労働時間

	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
従業員総労働時間	時間/年	1,892	1,867	1,896	1,895	1,894

・平均残業時間

	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
労働者の平均残業時間	時間/月	11.1	12.8	14.5	14.6	16.1

S3 国内カゴメグループを対象。

S4 各年度4月1日時点の集計値。

S5 各年度4月1日～3月31日期間の集計値。

<社会>

■ 労働状況（カゴメ）

・男女間賃金差 ^{*S6}

		単位	2021年	2022年	2023年	2024年
男性の賃金に 対する女性の 賃金の割合	全労働者	%	66.2	65.4	68.3	69.6
	正社員	%	68.6	67.3	70.5	71.5
	パート・有期社員	%	87.8	87.6	86.6	89.3

・人事部が主催した研修の実施状況

	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
延べ研修実施時間	時間	11,854	13,710	13,374	11,228	11,160
社員一人あたりの研修実施時間	時間	—	8.04	7.75	6.48	6.38

■ 健康管理に関する状況（国内カゴメグループ）

・健康診断に関する状況

	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年 目標
受診率	%	100	100	100	100	100	100
特定保健指導実施率	%	84.8	88.7	86.9	85.7	83.8	100

・ストレスチェックに関する状況

	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年 目標
受検率 ^{*S7}	%	93.3	92.0	93.7	94.1	96.9	—
高ストレス者比率	%	7.6	8.3	7.9	7.0	6.7	安定的に 8.0

・喫煙率の推移

	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年 目標
喫煙率	%	19.5	16.1	15.1	14.3	13.9	12.0

・パフォーマンスに関する指標

	単位	2021年	2022年	2023年	2024年
エンゲージメントサーベイ 総合スコア ^{*S8}	—	70	70	72	72
傷病休職日数（全従業員平均）	日	1.62	1.83	2.36	2.62
プレゼンティーズム ^{*S9}	%	13.7	14.9	17.5	17.0

S6 2024年の正社員の年代別差異は50代・64%、40代・79%、30代・86%、20代・102%となっている。
現状40代・50代が中心層である当社管理職に占める女性割合は12.1%（2025年4月時点）であり、差異縮小に向け、
長期ビジョンとして掲げている「2040年頃までに各職位の女性比率50%」に則った採用や管理職登用等の女性活躍
施策を計画的に推進している。

S7 2022年より休職者を除いて受検率を算出

S8 Wevox（株式会社アトラエが提供するエンゲージメント測定・支援ツール）による

S9 コラボヘルス研究会の従業員アンケートによる（WFun合計点 21点以上の割合）

<社会>

・健康経営投資額

2024年度 76百万円（内、健康診断費用28百万円をはじめ、ストレスチェック、各事業場が推進する健康関連企画、従業員向け研修等の合計額）

<ガバナンス>

■取締役会（カゴメ）

		単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
取締役総数	男性	人	8	7	7	5	6
	女性	人	3	3	3	3	3
	合計	人	11	10	10	8	9
社外取締役		人	5	5	5	4	4
取締役会議長		—	取締役会長	代表取締役社長	代表取締役社長	代表取締役社長	代表取締役社長
取締役会 開催回数		回	14	15	14	14	14

■カゴメコンプライアンスホットライン相談・通報受付件数（カゴメグループ）

	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
国内	件	16	15	28	25	23
海外	件	1	0	0	0	2